

契約事務(基礎)研修

～契約事務の基礎を学ぶ～

◆こんな方におすすめ！

- ・ 契約とはどういうものかについて学びたい方
- ・ 契約事務の基礎について学びたい方
- ・ 契約事務を担当する方 など

◆研修のねらい

地方公共団体では、用地買収契約、建設工事契約、土木工事契約、業務委託契約、物品購買契約等の契約にまつわる問題は複雑化する傾向にあり、その事務手続においては、透明性・公平性の確保が不可欠です。

この研修では、契約に関わる基礎的な問題を取り上げ、地方公共団体の契約を中心に演習や事例を交えながら分かりやすく解説します。

◆講師情報

一般社団法人日本経営協会
講師 嶋 靖記

◆予定科目

- 1 契約とは何か
- 2 契約書作成の意義、注意点
- 3 予算と契約
- 4 自治体契約の特徴
- 5 契約事務の流れ
- 6 各種契約の実務
- 7 契約に関するトラブル防止

(随時) 演習、事例紹介



◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和6年9月26日(木)～9月27日(金)
宮崎県婦人会館3階大会議室さくら

◆受講者の声

- ◎ 具体的な事例、講師ご自身の経験を交えて説明して下さるので、わかりやすく、自分ごととして講義内容を捉えることができた。
- ◎ 制度の趣旨等について正しく理解できていなかった点が多くあったため、今回理解を深めることができてよかった。
- ◎ これまで曖昧に理解していた契約事務について、根拠法令とともに学ぶことができ、たいへん有意義な研修でした。
- ◎ ひとつひとつの言葉を理解しながらの講義で大変だったが、実務で聞いたことのある言葉を改めて理解できたので良い時間であった。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 お打ち合わせ	1 契約とは何か	休		2 契約書作成の意義、注意点 3 予算と契約
2日目		4 自治体契約の特徴 5 契約事務の流れ		憩		6 各種契約の実務 7 契約に関するトラブル防止

公会計のための簿記セミナー（基礎編）

～簿記の基礎を学び、コスト意識を身に付けよう！～



◆こんな方におすすめ！

- ・簿記の基礎知識について学びたい方
- ・地方公会計について学びたい方
- ・財務書類の見方について学びたい方 など

◆研修のねらい

地方分権の進展に伴い、自治体職員には、これまで以上に責任ある行政経営が求められています。そのため、資産や負債の情報を含めた複式簿記の基礎知識を学ぶ必要があります。

国においても、財務書類作成の統一的な基準を示し地方公会計の整備推進を図っています。

このセミナーでは、簿記の基礎を重点的に学び、貸借対照表や損益計算書を作成することで決算・財務分析の実践的な学びにつなげ、公会計の基礎知識を習得することをねらいとしています。

◆講師情報

南九州短期大学
講師 佐藤 弘太郎

◆予定科目

- 1 簿記誕生の歴史的背景・目的
- 2 公会計への複式簿記導入理由
- 3 発生主義会計による記帳方法
- 4 公会計取引の複式記帳
- 5 公会計財務書類4表の作成手順
- 6 統一的な地方公会計マニュアル
(勘定科目の注意点)
- 7 決算手続きについて（企業会計）
- 8 決算を考慮した財務諸表の作成
- 9 財務諸表の見方
(予算設定のための財政分析・財務分析)

◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和6年5月16日(木)～5月17日(金)
自治会館3階大会議室

《研修時の持参物》

- ・10桁以上表示できる電卓
- ※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 財務4表や勘定項目等、歴史や年表、講師の経験を例に講義下さり、簿記の知識がない受講者にとって大変イメージしやすく、理解しやすい研修だった。ただ簿記の問題を解いていくだけでは得られない理解ができた。
- ◎ 初めて簿記に触れることもあり、研修の受講に少し不安もありましたが、終わってみればとても有意義な時間を過ごせた。講師の方の一言一言に惹きつけられるものがあり、常に良いモチベーションで研修に参加できた。
- ◎ 実務で活かすことはもちろん、簿記を通しての物事の見方・考え方なども勉強になった。大変面白く、時間があっという間に過ぎた。

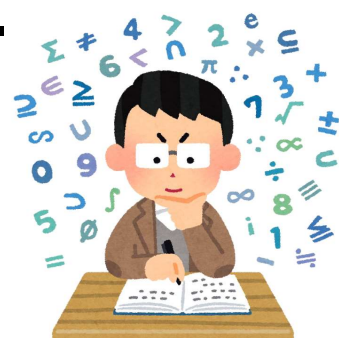
◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 がインテ-ション	予定科目1～3	休 憩		予定科目3～5
2日目			予定科目6～7			

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（応用編）
- 公営企業会計セミナー（公営企業会計について学びたい方）

公会計のための簿記セミナー (応用編)



～簿記を深く学び、予算編成につなげよう～

◆こんな方におすすめ！

- ・簿記について詳しく学びたい方
- ・地方公会計について学びたい方
- ・簿記分析、損益分析を学びたい方 など

◆研修のねらい

この研修では、簿記のスキルアップとともに、減価償却や短期利益計画、損益分析を学ぶ事で、予算編成のための現状分析力を身に付けることをねらいとしています。

◆講師情報

南九州短期大学
講師 佐藤 弘太郎

◆予定科目

- 1 簿記セミナー（基礎編）の振り返り
複式簿記（工業簿記・原価計算）の基礎知識
個別原価計算・総合原価計算
- 2 決算Ⅱ 売上原価の計算、定期前払費用 等
- 3 実践的精算表の作成
売上原価の計算、減価償却、貸倒引当金、
定期前払費用、費用の繰延 等
- 4 経営管理者的解決方法によるアプローチ
- 5 公会計取引の複式記帳Ⅱ
- 6 未来原価計算（アメリカ会計）、原価予測
- 7 予算設定のための原価予測・利益計画
- 8 CVP分析、原価分解
- 9 総合問題、解説

◆研修情報

- 対象者 簿記の基礎知識を有する職員
受講を希望する職員
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和6年12月5日（木）～12月6日（金）
自治会館3階大会議室

《研修時の持参物》

- ・10桁以上表示できる電卓

※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 講師の熱量が伝わってくる、とても充実した2日間だった。自所属の昨年度の決算書を見返して理解を深めていき、次年度予算についても精査していきたい。
- ◎ システムで自動で行われる仕訳もなぜその様な仕訳になるのか、今回学んだことを生かして自分なりに理解できるよう努めたいと思います。
- ◎ 非常にあつく熱心に講義をいただきました。わかりにくい部分も細かく、わかりやすく教えていただきました。学びが身につくよう反復し習得しようと思います。

◆スケジュール

9:30		9:45		10:00		12:00		13:00		16:30	
1日目		開講式 が挨拶		予定科目1～2		休 憩	予定科目3～5				
2日目	予定科目5～6				予定科目7～9						

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編）
- 公営企業会計セミナー（公営企業会計について学びたい方）

公営企業会計セミナー

～公営企業会計の仕組みを知る～



◆こんな方におすすめ！

- ・公営企業会計担当の方
- ・公営企業会計の仕組みを学びたい方 など

◆研修のねらい

このセミナーでは地方公営企業会計の実務の基礎を学びます。

簿記の基礎的知識である財務諸表（貸借対照表、損益計算書等）から解説するとともに、地方公営企業の予算書・決算書の読み解き方や地方公営企業会計制度改正への対応について、講義及び演習を通して理解を深めます。

◆講師情報

株式会社アプサラ経済経営研究所
代表取締役社長 佐藤 裕弥

◆予定科目

- 1 地方公営企業の簿記
- 2 民間企業会計と地方公営企業関係法令の理解と運用
- 3 公営企業制度地方公営企業の法制度経営財務、料金の適正化
- 4 公営企業における予算書様式と作成の留意点
- 5 公営企業における決算書様式と作成の留意点
- 6 公営企業会計の実務上の留意点
- 7 公営企業の経営戦略と予算・決算の関係とPDCAサイクル
- 8 参加者の所属する公営企業会計適正化と演習

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	予定科目1～4	休		予定科目1～4
2日目		予定科目5～8		憩		予定科目5～8

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編・応用編）（簿記について学びたい方）

◆研修情報

- 対象者 公営企業会計事務担当職員
簿記の基礎知識を有する職員
受講を希望する職員

- 募集人員 35名

- 日程及び会場
令和6年6月19日（水）～6月20日（木）
自治会館3階大会議室

《研修時の持参物》

- ・電卓
 - ・公営企業経理の手引き（最新のもの）
 - ・地方公営企業関係法令集
 - ・自団体の公営企業会計決算書（直近のもの）
- ※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずご準備ください。

◆受講者の声

- ◎ 公営企業会計について、実務で大切なことや注意すべきこと等を理論的かつ重点的に教えていただき非常に参考になった。
- ◎ 公営企業会計の歴史や経緯はとても興味深い話だった。
- ◎ 手引きを読むだけでは到底得ることができなかった内容で満足した。
- ◎ 受講し、公営企業会計と企業会計の違い、また一般会計との絡みを理解する事ができた。

出張財政出前講座

～財政財務の今を知る～



◆研修のねらい

地方財政制度や財務事務全般について現状を知るとともに理解を深めます。

また、今後の動向についても、現場を知る講師から最新の情報・トピックスをお話しいただくことにより、財政について関心を深め、高いアンテナを張る契機とすることをねらいとしています。

◆講師情報

《募集時にお知らせします》

総務省から宮崎県及び宮崎県内の市町村に派遣されている職員等を予定

◆前回の実施科目 (with SIMULATIONふくおか2035)

- 1 自治体財政の構造、概況、将来の見通し
- 2 財政健全化の必要性についての理解
- 3 対話型自治体経営シミュレーションゲーム
～ SIMULATIONふくおか2035 ～
- 4 SIMULATIONふくおか2035 振り返り

◆研修情報 (隔年開催)

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和6年7月下旬 (予定)
オンライン研修

◆前回の受講者の声

- ◎ 財政の全体像がとてもよく理解できた。今後の予算編成などにいかしたい。
- ◎ 財政予算は未来への投資であること、計画を決めてどこを終着点にするか決めなければならない等とても勉強になった。
- ◎ 指標にだけとらわれて、十年先から今を見て事業展開していく視点が足りなかったことに気がきました。
- ◎ 予算を査定する側ではあるが、担当課との対話を意識して、一緒に考え、何のための事業なのかイメージを持って査定していきたい。

◆スケジュール

9:45 10:00

11:30

開講式 おしなせ	講 演
-------------	-----

◆関連研修

- 公営企業会計セミナー (公営企業会計を学びたい方)
- 地方自治セミナー (地方自治を学びたい方)

税務関係職員初任者研修

～税務職員として必要な知識、法的根拠などの基礎を学ぶ～



◆こんな方におすすめ！

- ・税務全般の基礎を学びたい方
- ・地方税の諸情勢に関心のある方 など

◆研修のねらい

地方税事務を体系的に理解し、課税から徴収までの基本事項を習得することで、多様化・複雑化する地方税事務に対応できる幅広い知識を身に付けます。

◆講師情報

宮崎県総務部市町村課
税政・交付税担当職員
公益財団法人東京税務協会
専門講師 菊池 誠樹

◆予定科目

- 1 地方財政の中の地方税
- 2 地方税概要及び地方税法総則
- 3 住民税概要
- 4 固定資産税概要
- 5 徴収事務概要
- 6 演習問題と事例検討

◆研修情報

- 対象者 税務関係職員
(主対象：経験年数2年未満の職員)
- 募集人員 35名
- 日程及び会場
令和6年5月28日(火)～5月29日(水)
宮崎県自治会館3階大会議室

＜研修時の持参物＞

- ・電卓
- ・蛍光ペン（色は問いません）

◆受講者の声

- ◎ 税金の制度や仕組み、なぜその処理をしているのかなど理解を深めることができた。
- ◎ 事務処理をしながらも、税務について基礎ができていないために窓口や電話での対応が苦手だったが、法律やシステムについて理解することが、市民に対する誠実な対応につながると学んだ。
- ◎ 税に携わる者としての対応、判断は、相手の生活に深く関わる為、誤りなく適切に処理すべきという意識をあらたにできた。
- ◎ 自分の業務が住民にどれだけ大きな影響を及ぼすかを実感し、見落としや間違いがないよう業務を遂行していきたい。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	地方財政の中の地方税	休		地方税概要及び地方税法総則
2日目		住民税概要		憩		固定資産税概要・徴収事務概要 ・演習問題と事例検討

税務関係職員 固定資産税事務研修 (土地中級)



～事例演習を通して、実務能力の向上を図る～

◆こんな方におすすめ！

- ・固定資産税事務のレベルアップを図りたい方
- ・土地の課税と評価方法を学びたい方 など

◆研修のねらい

固定資産税は地方公共団体の貴重な自主財源の一つであり、法律や条例等に基づき、適切かつ公平に事務を行う必要があります。

この研修では、土地の課税・評価に関する実務運用手法を習得するため、事例演習と解説を加えながら、実践的ノウハウを学ぶことをねらいとしています。

※固定資産税事務研修は「土地中級」と「家屋中級」を隔年で開催しています。今年度は「土地中級」を開催します。

◆講師情報

公益財団法人東京税務協会
専門講師 石塚 克義

◆予定科目

- 1 固定資産税の概要
- 2 固定資産税の課税要件
- 3 税負担についての特例
- 4 評価と価格の決定
- 5 審査の申出等の救済制度
- 6 事例演習・情報交換・グループ討議

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 おエテション	固定資産税の概要	休		固定資産税の課税要件 税負担についての特例
2日目		評価と価格の決定 審査の申出等の救済制度		憩		事例演習、情報交換、グループ討議

◆関連研修

- 民法セミナー（民法の基礎を学びたい方）

◆研修情報（隔年開催）

- 対象者 基本的事項を修得した固定資産税事務経験2年目以降の職員

- 募集人員 30名

- 日程及び会場
令和6年10月24日(木)～10月25日(金)
自治会館3階大会議室

◀研修時の持参物▶

- ・電卓
※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 根拠法令など課税の根拠となることを理解することができたので、住民の方への説明などに活かしていきたい。
- ◎ 事務を行う上での、法的な解釈がはっきりわかり、評価替に生かしたい。
- ◎ 根拠法令等を交えながら、具体的に説明していただくと共に、様子を見ながら進めていただいたので、演習等他の自治体と意見交換し易く参考になった。

債権徴収事務研修 (私債権)



～債権徴収事務の手法を学んで徴収率アップを目指そう～

◆こんな方におすすめ！

- ・債権徴収事務のレベルアップを図りたい方
- ・自治体債権に関する滞納整理手続について学びたい方 など

◆研修のねらい

自治体が自立した行財政運営を進めていくためには、自主財源の要となる税や公的料金の確保が重要であり、公正、公平に滞りなく徴収するための強化が求められています。

私債権・公債権を隔年開催とし、今年度は私債権徴収（住宅使用料、水道料金、各種貸付金、学校給食費等）に関する研修を実施します。

◆講師情報

一般社団法人日本経営協会
講師 豊田 泰士

◆予定科目

- 1 債権管理の基本原則
- 2 自治法・自治法令等による債権管理
- 3 徴収困難者と保証人への対応
- 4 不納欠損処理に関する注意点
- 5 その他（相続、破産等）
- 6 事例検討

◆研修情報（隔年開催）

- 対象者 私債権徴収事務担当者
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和6年11月28日（木）～11月29日（金）
自治会館3階大会議室

※ 令和5年度が公債権でしたので、今年度は私債権の研修となります。

◆受講者の声 ※令和4年度の感想です。

- ◎ 豊田先生の講義が明快で分かりやすく、これまでの弁護士としての経験も交えたお話もありとても興味深く印象的でした。また、講義の中で条文を確認する時間も設けていただいたことで、条文のどのような部分を確認したらよいのかどのように解釈すればよいのか等のポイントも学ばせていただきました。
- ◎ 今回の研修を受講して、滞納整理をする際の注意点や、強制執行までの流れについて理解する事が出来た。今後の業務の中で、根拠法令を意識しながら適切な処理を行うようにしていく。
- ◎ 豊富な知識と経験を基にした講義で、大変参考になった。法令を遵守して債権回収に努めるとともに、落とすべき債権は落とす処理を行いたい。
- ◎ 裁判に関する知識が少ないため、かなり参考になりました。事例検討はとても良かった。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	債権管理の基本原則 自治法・自治法令等による 債権管理など	休		徴収困難者と保証人への対応 不納欠損処理に関する注意点 その他
2日目		事例検討		憩		事例検討

◆関連研修

- 民法セミナー（民法の基礎を学びたい方）